

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	慢性腎臓病における赤血球寿命と腎予後との関係性		
1. 研究の目的と方法	慢性腎臓病（CKD）では腎機能の低下に伴い、赤血球を作るために必要なホルモンであるエリスロポエチン（EPO）の産生が減少し、貧血を起こしやすくなります。また、腎機能が低下すると体内に老廃物（尿毒症物質）が蓄積し、赤血球の寿命が短くなることも貧血の原因の一つと考えられています。貧血はCKD患者さんにおいて腎機能の悪化や心筋梗塞・脳卒中などの心血管疾患と関連することが知られており、適切な管理が重要です。 赤血球が体内で分解される際に一酸化炭素が産生されます。この一酸化炭素は血液中でヘモグロビンと結合し、一酸化炭素ヘモグロビン（CO-Hb）として測定することができます。CO-Hbは赤血球の寿命や赤血球の分解状態を反映する指標として注目されています。 本研究では、カルテの情報を収集し、評価・検討を行うことで、CKD患者さんにおけるCO-Hb値と腎機能の経過や心血管疾患発症などとの関連について調べることを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院腎臓・高血圧内科にて外来フォロー中の慢性腎臓病患者さんで、2020年1月1日～2025年12月31日までに血液ガス検査を施行された18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、病歴等の診療情報、内服薬、注射薬、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。		
	試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科
		氏名	横尾 隆
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 神崎剛		

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026 年 10 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 研究責任者：教授 横尾 隆（よこお たかし） 窓口担当者：助教 神崎 剛（かんざき ごう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3221） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。